

# アイテム

2009  
夏  
Vol.08

(財)伊丹市文化振興財団  
TAKE FREE

特集  
伊丹で虫が鳴いている。



◎連載

【終演後の一軒】

鍋の中のイリュージョンショー

【芸は身を助く】

夏バテ知らずな働きバチを見習いたい

【まちなか美術手帖】 作品に刻まれたドラマ

【クラフト作家の仕事を訪ねて】

工作少年そのままに

【伊丹遺産】 武道とその精神を伝える館



220年の歴史を誇る道場

修武館

千年後の伊丹人に残したい

伊丹遺産 THE ITAMI HERITAGE



## 武道とその精神を伝える館

練習風景。  
約220cmのなぎなたが空を切る。

ヤアーツと威勢のいい掛け声。相手の一瞬の隙を探り、打ち込む。側で見る者にも伝染し、思わず襟を正したくなる気迫だ。1786年、伊丹の行政を担っていた酒造家の小西家が町の治安を守るため開設した修武館。歴史ある道場は今なお武道の普及発展に大きく貢献しており、日本三大私設道場の一つにも数えられる。子ども達に徹底した礼儀作法を指導し、剣道・なぎなた共に範士(武道における最高の称号)が指導に携わる点でも際立っている。小西家当主が歴代館長を務め、今日に至る。

日本古来の武器なぎなたは江戸時代、武家への嫁入り道具の一つだった。戦後、途絶えていたこの武道をいち早く復興したのも修武館。現在、幼稚園年長から80代まで幅広い年齢層の約200名が稽古に励む。伊丹には全日本連盟の本部も置かれ、全国高校なぎなた選抜大会も開かれる。伊丹の「お家芸」は修武館の伝統の上にある。

武道入門! : 剣道・なぎなた・居合道で礼儀作法・忍耐力・集中力を身につけたい方は財団法人修武館(072-772-5318)まで



【取材と文：内山真理子】 伊丹アイフォニックホール所属 世界の音楽を紹介する「地球音楽シリーズ」コンサートを担当。ローカル〜グローバルな「伝統芸能」と日々奮闘中。「昨年『沖縄の昆虫』写真展を開催した時、色鮮やかな虫たちの美しさに感動した記憶が…」

伊丹ふるさと寄附

ご寄附を通じて、ふるさと伊丹を応援してください

伊丹市では「夢と魅力のあるまち伊丹」の実現に向け、様々な施策に取り組んでいます。寄附金の活用は「芸術・文化」「スポーツ」など10テーマからご指定いただけます。

【お問合せ】伊丹市総合政策部政策室 TEL.072-784-8007 <http://www.city.itami.lg.jp/furusaitoiami.html>





重要文化財の座敷で和の赴きを。

今年、虫たちと競演するのは日本を代表するコスチューム・アーティストです。

## 虫×ひびのこづえ

会場：美術館・工芸センター・郷町館

舞台や映画の衣装を手がけるひびのこづえさんが、虫や生きもののかたちを服で表現する展覧会が同時開催。訪れた人も虫のように会場で擬態してしまう。「キタイギタイ」の世界を堪能しよう。



[BOB]2007年11月号  
フィンランド

「キタイギタイ」ひびのこづえ展-生きもののかたち 服のかたち-  
7/25(土)~9/23(水・祝)。10:00~18:00(入館は17:30まで)  
一般700円、大高生350円、中小生100円。072-772-7447。(美術館)  
チケットプレゼントあり。詳細はP11。

# 伊丹で虫が鳴いている。

## 今年4年目を迎えるイベント「鳴く虫と郷町」。

さて、その中身は…

◎特集取材：中脇健児(編集部)



街路樹の枝に吊す一場面も。

### まちなかで虫が鳴く？

日本最古の酒蔵が今も残る伊丹郷町。江戸の風情あふれる界隈では、秋になるとスズムシが一斉に鳴き出す。といっても、草むらからではない。商店街や酒蔵、街路樹に吊るされた虫カゴから聞こえる鳴き声は、伊丹市昆虫館と伊丹市文化振興財団が企画するイベント「鳴く虫と郷町」だ。「江戸時代に流行った庶民の娯楽」虫聴き“を伊丹で再現しよう”と約15種2千匹をまちなかで展示するイベントは、今年で4年目を迎える。

展示会場は、重要文化財の旧岡田家住宅や100を超えるお店の軒先や店内。虫の声を聞きながら着物姿で歩く若い女性や、あちこち寄り道しながら聴き比べをする地元の子どもたちなど、楽しみ方は様々だ。「近所のお店に配って歩いたり、お客さんとの会話もはずむし、交流のいいきっかけになった」と郷町商業会長の荒木宏之さんも手こたえを感じている。お店のスズムシをお客さんが持ち帰って越冬させる、なんてちょっとした話も

あつたりするんだとか。

### 虫と一緒に歌って踊る

鳴き声をただ聴くだけじゃない。世界トップレベルののこぎり奏者がスズムシと合奏したり、ダンスサーが鳴き声をバツクに即興で踊るなど、アートな競演も楽しめる。「曲が盛り上がるにつれて、虫の音も大きくなるのが不思議。機会があればまた出たい(のこぎり奏者・サキタハヂメさん)」と虫の声はアーティストの感性にも響くようだ。

期間中は「鳴く虫季節の暮らし」と題したお月見会や、「鳴く虫おやこ句会」、「鳴く虫アララウム」など、文化施設や博物館が“虫”にまつわる企画を絞り出す。全国にも珍しい取り組みとあって、今年も文部科学省からモデル事業に認定され注目を集めている。といっても、気負いはない。「だつて無理したらしんどいでしょ。長続きさせるには楽しまない」と中心メンバーの坂本昇さん(伊丹市昆虫館)はあくまでも自然体だ。合言葉は「ほちほちやつていこ」。さて、今年も虫の声をのんびりと楽しみましようか。

### 今年のイベントは…

約20の施設、商店、団体が参加し、ライブあり、天体観測あり、限定カフェまで登場し、過去最大規模になる予定。今年から昆虫採集や飼育・鈴虫越冬もはじまり、年間通じて楽しめる。裏側が垣間見える特設ホームページも準備中。(nakumushi.com)

#### 「鳴く虫と郷町」

9/4(金)~9/12(土)。伊丹郷町館、ほか市内各所。無料(一部有料も)。072-772-5959(伊丹郷町館)。月曜休。

リン、リン、リン、リン、リン、リン、リン、リン



### 開催直前。圧巻の仕分け

「あまりの量に思わず写真撮った」という驚きの虫の数。



### 220年の歴史をもつ、なごなだ道場でコンサート

「修武館」道場生がコンサートを企画。出演者の交渉まで全部やります。(関連記事、裏表紙にあり。)



### スズムシ飼育中

毎年お裾分けしてくれる愛好家の一人、棘さん。「今年も数百匹は渡せると思うけどなあ」

### 「鳴く虫と郷町」の裏側をご紹介。ただいま、準備中!!



### 会議風景も独特。

関連企画「酒樽夜市」の会議は三軒寺前広場で。オモシロ好きが集うミーティングはすでに宴状態です。



展示だけじゃない。  
昆虫館の裏側に  
せまります。

# 日本屈指 「虫の館」の シゴト

伊丹のオアシス、昆陽池公園に「虫の館」はある。「伊丹市昆虫館」は、年中千匹が飛び交うチョウ温室や、サイズ2000倍の巨大なミツバチの模型、かわいらしい昆虫のお面などの展示が楽しい。遠方からわざわざ訪れる人も多いとか。人気の秘密は企画展のユニークさにある。2004年のヒット企画「むしのうんこ」展では、昆虫が糞をする映像を流し、虫眼鏡での観察コーナーや、うんこのぬいぐるみまで作ってしまうノリ



**A** 虫のうんこ大好き、角正さん。**B** 芳香に酔いしれる。カメムシ研究の長島さん。**C** 植物、はやにえ、切手…トリックプレーヤーの野本さん。**D** ハチ愛あふれる後北さん。**E** 虫の味ならオレに聞け。坂本さん。**F** 虫グラフィアの激写王、奥山さん。



展示だけにとどまらない。「むしのうんこ」絵本(1,470円/柏書房)、オリジナル切手&ハガキ(200円)、缶バッジ(100円~200円)は重版、完売続出の人気商品。スタッフのテレビ出演も多い。ミュージアムグッズは昆陽池公園内のショップ(072-785-2148)で。

**伊丹市昆虫館**

昆陽池3-1昆陽池公園内  
9:30~16:30(入館は16:00まで) 火曜休 072-785-3582  
大人400円、中高生200円、3歳~小学生100円

やなく、身近に暮らす生き物について考えることが大切(※3)というアツい話を聞いている最中に、一本の電話がなった。ハエかゴキブリかわからない虫を捕まえたので教えてほしい、という問い合わせ。「害虫かどうか心配みたい。でもここからはじまるものがあると承りますので、なるべく丁寧に答えます」と角正さんは虫カゴとカメラを持って、街へ飛び出して行った。



## 実はすごい。伊丹の虫事情(※3)



西桑津地区にはヒメボタルや、絶滅危惧種の蝶「シルビアンジミ」がいる。空港そばのため手つかずで自然が残っているからだとか。また伊丹で消えたとされた蝶が35年ぶりに発見されるなど、専門家も注目する虫エリアなのです。



## まだまだある こんな虫のイベント

7/15(水)~8/31(月) **昆虫館**  
**むしの忍者、大集合**

虫たちが生き延びるために編み出した技を忍術にたとえてご紹介。まるごと忍者屋敷になった会場で、「分身」「枝隠れ」「死体なりすまし」など、驚きの技を目にした。虫忍者に扮して実際に体験する「むしの忍術道場」もあり。



『むしの忍者大集合』  
7/15(水)~8/31(月)。  
9:30~16:30(入館は16:00まで)。  
大人400円、中高生200円、3歳~小学生100円。  
火曜休。072-785-3582

7/25(土)・8/9(日) **美術館・工芸センター・郷町館**  
**自分でつくるアートな虫グッズ**

『「キタイギタイ」ひびのこづえ展』の関連イベント。アーティスト自ら講師となってワッペンやエコバッグの作り方を教えてください。素材や色で遊んでつくるあなただけの虫グッズ。小学生からでも参加できるので、夏休みの思い出にぜひ参加したい。



『虫をつくろう』  
7/25(土)①10:30 ②14:30  
観覧券十材料費500円、小学生以上、各回50名  
『エコバッグをつくろう』  
8/9(日)10:30~16:00  
観覧券十材料費500円  
中学生以上(小学生のお子様は保護者同伴で参加可)  
定員50名、いずれも要予約 072-772-5557(工芸センター)



伊丹市文化振興財団・加藤四季。ミュージカル俳優を夢見る歌って踊れる「財団四季」がまちへ飛び出し、あらゆる教室やスクールに挑戦するトツゲキ系連載。

# 財団四季の

## vol.8 芸は身を助く



【伊丹市昆虫館】  
 昆陽池のほとりに1990年オープン。関西最大級の「チョウ温室」を始め、生きた昆虫と触れ合える展示や講座が盛りだくさん。p4~5で特集。



### 夏バテ知らずな働きバチを見習いたい

**加** 藤家の女はハチに付け狙われる宿命。できるだけお近づきにならぬよう暮らしてきたのに、昆虫館でミツバチの巣箱の内検に参加することに。新しい女王の誕生を阻止したり、卵はあるか、皆元気をチェックします。

で着々と作業を進める職員さんが、女王バチを発見。ローヤルゼリーという特別な食事のおかげで、一際大きく凄まじい存在感です。

防護服を着せてもらい、「せっかくやし！」と気合を入れたのも束の間、ハチの侵入防止にと手足をガムテープでぐるぐる巻きにされて、一気にビビリモードに突入。

見慣れてくると個性豊かな様子にすっかり癒されそうに。健気に働くメスを尻目に、マッチョでぐうたらなオスが蜜に頭を突っ込んでいたり、洗顔中のコがいたり。女王バチによって巣箱の性格が違うそうで、このコ達はおっとりしているんですって。

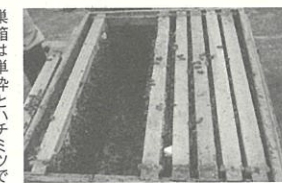
大人しくさせるために燻煙器で巣箱に煙を吹きかけます。これで安心かなと近づいた途端、顔めがけて特攻してくる偵察隊。防護服で羽音がこもり、思わず顔が引きつります。その傍ら

内検後ハチのご飯を味見。ローヤルゼリーは舌先にピリッとする刺激と酸味と苦味、後から熱さも感じる忙しいお味で。こりゃ女王様も大きくなるわ。働きバチさんごちそうさまでした。

新女王の卵入り「王台」を発見！蜜刀で撤去！



巣箱は単枠とハチミツでギョウギョウ詰め



手袋と防護服の上からグルグル巻きにされるの図



【教室案内】ミツバチの巣箱を用い、生態観察、採蜜体験、みつろうを使ったクラフト作りができる。年3回開講。要予約。072-785-3582。

# まちなか美術手帖

伊丹市立文化会館「いたみホール」に立つ鈴木治「青年ノ像」は、数奇な運命をたどってきた。

赤化粧をほどこしたイメージにある信楽焼で、そばにある銘板には作品に託す思いが刻まれている。よく見れば3人の青年が背中を合わせてまっすぐ前をみつめているかのような。

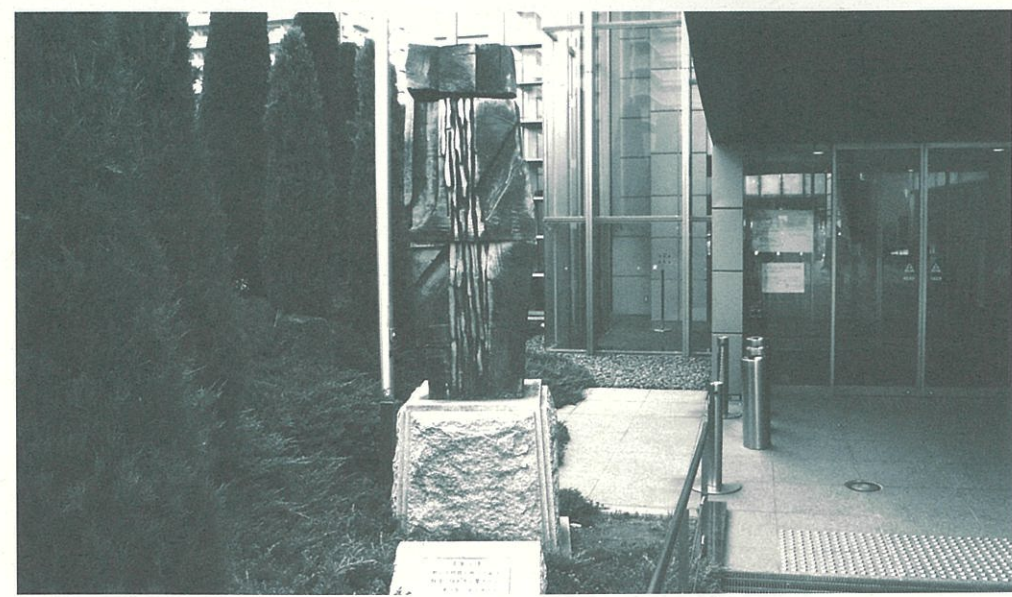
伊丹市立文化会館「いたみホール」に立つ鈴木治「青年ノ像」は、数奇な運命をたどってきた。赤化粧をほどこしたイメージにある信楽焼で、そばにある銘板には作品に託す思いが刻まれている。よく見れば3人の青年が背中を合わせてまっすぐ前をみつめているかのような。

品が息を吹き返すことを喜んだという。その約3年後、亡き人となる。鈴木治にとって、これほど大きな作品は珍しく、屋外作品も数少ない。かつ代表作である抽象的形態の一連作品「泥象（でいしやう）」を生む前年の転換期にあたる貴重な作品。いつまでも守られることの願いを、今でも確認できる修復跡に込める。

## 作品に刻まれたドラマ



【鈴木治(1926-2001)】ろくろ職人を父にもつ陶芸界の革新者。オブジェとしての陶芸を生んだ集団「走泥社(そうでいしゃ)」の創設者の一人。写真は修復時(本人:右)



【取材と文：岡本梓】伊丹市立美術館所属。「風刺とユーモア」をコンセプトとする美術館にふさわしく、伊丹をナナメから見る「理論よりも感性」な現場の学芸員。専門は近現代美術。「虫って、虫嫌いの人めがけて飛んできませんか？」

【取材と文：加藤四季】いたみホール所属。音楽を学び、社交ダンスでは全国大会出場経験も持つ「歌って踊れる」ホールスタッフ。「子供の頃、山で道案内してくれる“はんみょう”について行ったら、迷子になりました」



## 工作少年 そのまゝに

JR宝塚駅から山側に歩いて15分、新緑に映える赤い壁が印象的なジュエリー作家、佐野俊郎さんの工房を訪ねてきました。

ジュエリー制作は、手元の作業が多いため、こぢんまりとしたスペースかなと思っていたら大間違い。「自分でも何台あるか分からなくなった」という程、大小様々な機械がところ狭しと置かれていて、まるで町工場のようにです。オーブントースターを分解して作った研磨機など、お手製の機械もあると聞き、まともやビックリ!

小学生の頃、模型飛行機作りで夢中だった佐野さん。誰かに教わることもなく、図面描きから素材探し、金属の加工、細かい部分の仕上げまで全て一人で研究したそうです。ものづくりの基本が自然と体に染み付いた頃、貿易の仕事をしていたお父さんの手伝いで宝石鑑別の勉強をしたことがきっかけとなり、ジュエリー制作の面白さにひか

## クラフト作家の仕事場を訪ねて

ジュエリー作家の佐野俊郎さん



A 中央にあるのが手作り研磨機。磨き終わると「チーン」と鳴る。B レーザー彫刻機は今一番のお気に入り。細かい作業はお任せあれ。

【工芸センターからのお知らせ】7月25日から開催する「ひびのこづえ展」では、ひびのこづえさんと伊丹ジュエリーカレッジが制作した虫をモチーフとしたジュエリーを販売します。お楽しみに! 詳細は工芸センター072-772-5557まで。

れていきます。

手掛けるのは、鑄造の一種でロストワックスという技法が中心。まずロウで指輪などの形を作り、周りを石膏で固めます。ロウを溶かしてできた空洞に金属を流し込み、磨いて仕上げます。精密な加工が可能のため、小さな歯車を幾つも使った虫の羽を動かすことができるものなど、遊び心のある作品が多いのが特徴です。

「たくさんの機械や工具を生かし、作る楽しみを多くの人に伝えていきたい」と教室も開いている佐野さん。目を細めてものづくりの魅力を語る姿は、工作好きな少年がそのまま大人になったようでした。

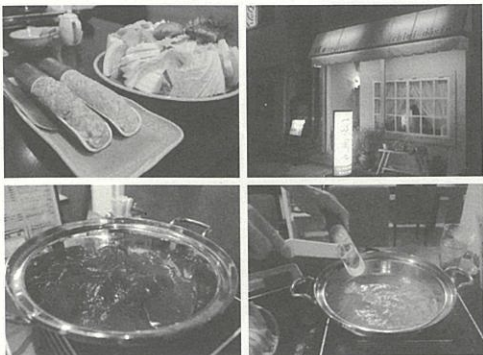


佐野俊郎 (さの としろう)  
宝塚市在住。伊丹ジュエリーカレッジ講師。ジュエリーだけでなく、彫刻など大きな作品も手掛ける。夢次元空間彫金教室主宰。HPは <http://www.jttk.zaq.ne.jp/mujigen/>

【取材と文：澤野宏美】伊丹国際クラフト展や伊丹郷町クラフトショップを通して全国各地の工芸作家とつながる。手織や陶芸などの講座を主に担当。「夏休みの宿題でスズムの研究をし、賞を貰えたのは嬉しかったな〜。ちなみにスズムシをくれたのが2Pで紹介されている頼さん。ありがとうございます!」

伊丹には感動の余韻を楽しませてくれるお酒と料理がちやんとありました。

## 終演後の一軒 A DOOR AFTER THE SHOW



「同心鍋」1,659円(1人前)。他に「韓国風鉄板鍋(もつ鍋)」1,323円(1人前)。どちらも2人前からのご注文。ただしお一人のお客様には1人前も提供可。銀ダラやさわらの西京焼き798円など居酒屋メニュー、昼はイタリアンランチ定食もあり。

7/26(土) □会場:いたみホール

### 引田天功スーパーイリュージョン

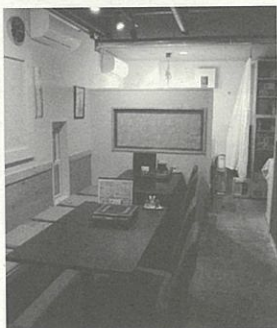
引田天功が伊丹にやってくる  
米国、欧州、日本、アジアと世界で年間300公演と大活躍の引田天功による大掛かりな仕掛けを用いたステージマジック。世界規模イリュージョンでスリリングな迫力ある舞台が立ち現れる。



7/26(日) (昼の部→14:00) (夜の部→17:30)。S席5,000円。A席3,500円。072-778-8788。※5歳未満のお子様は膝上での鑑賞の場合無料。ただし席のいる場合はチケットが必要。

### 鍋の中の イリュージョンショー

いたみホールがスーパーイリュージョンの感動につつまれた夜、興奮冷めやらぬままお腹がすいたら、阪急伊丹駅前ロタリー西側の筋を1本入ろう。カフェのような店構えに「コラーゲン鍋」の看板が見える。店の名前は「一味同心」。おススメは「白」と「茶」2種類のスープから選べる「同心鍋」だ。運ばれてきた鍋の中に入っているのはゼリー状のぶるぶるした塊。透き通った琥珀色のつやに見えながら卓上のIHコンロのスイッチを上げると、一層ぶるぶるし始めた。そして一気に底の方から溶け出すと、あつという間に原形をなくし、気づけば鍋にはぐつぐつと煮立ったおいしそうなスープがたっぷり。あつげにとられながら竹筒に盛られたつくねと野菜や豚肉を鍋に流し込んでみると、「さっきの塊は鶏肉や鶏がら、魚のひれ。皮からとった『煮凝り』です」と店主の平山さんが教えてくれた。「コ



ラーゲンは中に溶け出している」と言う。

ダシが効いた雑煮の様な味わいの「白スープ」や、甘辛くしつかりした醤油味の「茶スープ」が固まったり、溶け出したり。舌だけでなく目も楽しませてくれる「鍋のイリュージョンショー」は、「ホルモン盛り合わせ」を追加してコラーゲン三昧の後、雑炊にして幕を閉じた。



鍋彩ター一味同心(いちみどうしん)  
西台1-7-23  
TEL:072-770-6021 月休  
11:00~14:30(ラストオーダー14:00)  
17:30~23:00(ラストオーダー22:30)

【取材と文：宮村賢治】いたみホール所属 アートプロジェクトのオモシロさにもせられ、日々商店街やまちなかをぶらつく。「氣になる『水都大阪2009』。『水の都』大阪には素敵な作家が集結するけど、負けないくらい『鳴く虫の町』郷町でもりあがる!」



9・30(水)~10・25(日) 1つの言葉をジュエリーで表現

廃墟・残像捜査・・・等の意味を持つ「TRACE」をベルギー(アントワープ王立芸術学院)、日本(伊丹ジュエリーカレッジ)、中国(北京芸術大学のジュエリー科の講師及び生徒が、自由に解釈し表現した展覧会。作品ごとに異なる言葉のとらえ方から、文化の違い、個性や記憶が反映された様子がうかがえる。普段気に留めることのない、一つの言葉について思いを馳せるキッカケに。  
 『TRACES-第2回伊丹・ベルギー・中国コンテンポラリージュエリー選抜作品巡回展』9/30(水)~10/25(日) 10:00~18:00(入館は17:30、最終日は16:30まで) 無料 072-772-5557

伊丹市立工芸センター

9・27(日) 愛を語りあう、鳥たちの歌

自然や人間のありのままの姿が生きて描かれた16世紀フランス・シャンソン。今回はテーマを“鳥”に絞り、絶大な人気と高度なテクニクを有するクレマン・ジャヌカン・アンサンブルが、さまざまな鳥の鳴き声を自由自在に操ります。  
 アイフォニック地球音楽シリーズ143「甦るルネサンス 驚異の男声五重唱」9/27(日)14:00 一般3,500円、学生2,500円(当日各500円増) 072-780-2110

伊丹アイフォニックホール



夏休み やろう! 創ろう! 楽しもう!

夏休み、いっぱいいろいろな体験してみよう! 「Tシャツに絵を描こう」「スポーツチャンバラ体験」「親子でパーティー料理」「朗読ワークショップ」「ラスタ自然工作教室」「親子で科学サロン」「パソコン写真日記」など。長い夏休み、思い出いっぱいつこうね。  
 『夏休み子ども特集!』夏休み期間 詳細はラスタホールまで 072-781-8877

ラスタホール



10・4(日) あのソプラノを伊丹で聴ける喜び

4年連続紅白歌合戦出場の経験もつ世界的ソプラノ歌手佐藤しのぶの軽快なトークを交えたスペシャルリサイタル。「トゥーランドット」「蝶々夫人」「ジャンニ・スキッキ」等オペラの名曲やシューベルトの歌曲をお楽しみ下さい。(曲目は予定)。  
 『佐藤しのぶ ソプラノリサイタル』10/4(日)15:00 6,000円(当日500円増) 072-778-8788

いたみホール



※イベントにより、未就学児童の入場の制限等がある場合がございます。詳細は各ホールへお問合せ下さい。※いたみホール、アイホール、ラスタホールは火曜日休館。伊丹アイフォニックホールは水曜日休館。美術館、工芸センター、伊丹郷町館、柿衛文庫は月曜日休館。(祝日にあたる時は翌日)

アイテム

2009年7月1日発行(季刊夏号・通巻61号)  
 発行:(財)伊丹市文化振興財団  
 編集:アイテム編集委員会  
 表紙イラスト:ニシワキタダシ  
 デザイン:三澤敏博(絡線堂)  
 〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3  
 伊丹市立文化会館「いたみホール」内  
 Tel.072-778-8788 Fax.072-778-8585  
 http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan  
 Email->itamihall@hcc1.bai.ne.jp



チケットプレゼント

- ①『キタイキタイ ひびのごつ展-生きものかたち 服のかたち-』7/25(土)~9/23(水・祝)<美術館>5組10名、8月8日必着
- ②『Take a chance project022「高嶺格パフォーマンス公演」』8/8(土)~8/9(日)<アイホール>2組4名、希望日時指定のうえ、7月25日必着

プレゼントをご希望の方は、はがきまたはEメールで郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、上記文化振興財団住所宛「アイテムチケットプレゼント係」まで。当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

7・11(土) 平均80歳のコーラス隊の真実の物語

アメリカの小さな町で生まれた平均年齢80歳の世界一ロックなコーラスグループ「ヤング@ハート」。舞台を目指して新曲に挑むメンバーが歌う喜びや仲間との友情を通して奮闘する、元気なシニアたちの感動の物語です。  
 『ラスタ映画倶楽部 ヤング@ハート』7/11(土)10:00/14:00/18:00 一般800円、高校生以下60歳以上600円(当日各200円増) 072-781-8877

ラスタホール



7・12(日) 夏の風にのせて贈る弦楽器の調べ

足立勝さんの楽しくわかりやすいお話とともに、良質のクラシック音楽を身近に楽しめるアーベントコンサート。今回はヴァイオリンとチェロによるエレガントで格調高い名曲をおおくりします。「チゴイネルワイゼン」「タイスの瞑想曲」など。  
 『ITAMI アーベントコンサート ヴァイオリン&チェロの調べ』7/12(日)14:30 一般1,600円、高校生以下60歳以上1,200円(当日一般400円増、高校生以下60歳以上300円増) 072-781-8877

ラスタホール



8・8(土) 8・9(日) 日本とタイとのコラボレーション

ダムタイプの元パフォーマーで現代美術作家の高嶺格の演出による新作舞台! 日本とタイのオーディションで選ばれた気鋭のアーティスト10人が、国籍・性別・年齢・バックボーンの異なる中、どんなパフォーマンスが生まれるか。  
 『Take a chance project022「高嶺格パフォーマンス公演」』8/8(土)19:00、8/9(日)13:00/17:00 一般2,500円、学生&ユース2,000円(当日各300円増) 072-782-2000

アイホール



撮影:竹崎博人

9・13(日) クラシック入門のトーク&ピアノ

膨大なレパートリーを誇り、独自の演奏とトークで人気のピアニスト田尻洋一。お国柄を表現した曲や、クラシック音楽の王道「ソナタ形式」など名曲がぎっしり。初めての方もそうでない方もぜひ楽しんでみては。4歳以上のお子様もOK!  
 『田尻洋一トーク&ピアノコンサートシリーズin伊丹vol.42 クラシック入門編~名曲紀行①~』9/13(日)14:00 一般3,000円、学生・60歳以上2,500円、子ども(4歳以上)1,500円 072-778-8788(いたみホール)

伊丹アイフォニックホール



7・4(土) 7・5(日) 地域の人々とつくる舞台

昨年秋から地域のエルダー世代(70歳以上)と、新鋭アーティスト・相模友士郎が、様々な過去の体験、現在の出来事を語り合い、着想を得た舞台作品を創り上げる、「地域とつくる舞台」シリーズ第1弾!  
 『エルダー世代×相模友士郎「DRAMATHOLOGY/ドラマソロジー」』7/4(土)19:00、7/5(日)15:00 1,500円(当日300円増) 072-782-2000

アイホール



試演会より

7・11(土) 隠岐の島から、蓮華会舞と民謡

隠岐は日本海の荒波に削られた海岸の造形が美しい奇勝の地。同地国分寺に伝わる古典芸能「蓮華会舞」は平安時代の古代舞楽の流れを汲むものとして、国の重要文化財に指定。本公演では「蓮華会舞」のほか、多彩な民謡の数々をお届けします。  
 『アイフォニック地球音楽シリーズ142「奇勝と、古社と、芸能の島 隠岐の話」』7/11(土)14:00 一般3,500円、学生2,500円(当日各500円増) 072-780-2110

伊丹アイフォニックホール



7・25(土)~9・23(水・祝) 海を渡った妻への手紙

日本画家前田美千雄が戦地フィリピンから妻絹子にあてた葉書絵を中心に展示します。戦況悪化を感じさせない日常の風景や草花を描いた絵と文章は、妻への愛情に満ちあふれ心打たれます。皆様も大切な方と一緒にぜひご来館ください。  
 『戦場から妻への絵手紙-出征地フィリピンから』7/25(土)~9/23(水・祝) 10:00~18:00(入館は17:30まで) 一般200円、大高生100円、中小生50円 072-782-0244

柿衛文庫



8・14(金)~8・16(日) 「現代能」の世界にイブセンを誘う

坂手洋二が近代戯曲を「現代の能」のテキストとして再生させる試み。イブセンの代表作「人形の家」や「野鴨」などを換骨奪胎し、能のスタイルに構成。馬淵英良可、紺野美沙子の初出演も話題です。  
 『燐光群「現代能楽集 イブセン」』8/14(金)19:00、8/15(土)14:00/19:00、8/16(日)14:00 一般3,300円(当日300円増)、ペア6,000円、大学・専門学校生3,000円、高校生以下2,000円 072-782-2000

アイホール

